

河内小だより

平成23年1月27日 No. 43

D o スポーツ

今年のD o スポーツは、湧永製薬ハンドボール部ワクナガレオリックの選手4名を迎え、1月14日（金）14時から行われました。寒い中運動場で、日本のトップレベルの



選手たちの指導を受けながら 〈準備運動から〉 〈正しいホームで投げる〉ら、5・6年生も元気に活動していました。子どもたちが見て学び一流選手のプレーに刺激を受けることは、とても貴重な経験になります。どんなスポーツでもすばらしさは変わりません。野球・サッカー・バレーボール・ハンドボールなど、日本でもトップレベルのチームがあり、子どもたちへの指導をしてくださる機会を設けている、地方都市である広島は恵まれていると思います。

お知らせ

(1) 復帰に向けての練習

昨年1月より病気休職中であった清水 教頭が、1月31日（月）から2月21日（月）までの3週間、復職のための練習期間として勤務されます。児童やPTA関係の連絡はこれまで通り長本 教頭に連絡してください。よろしくお願いします。

(2) テントと児童用図書の寄贈

学区子ども会よりテント1張と最新版の児童用図書109冊の寄贈がありました。ありがとうございました。テントについては来年度の運動会がお披露目になると思います。児童の図書はさっそく図書室に並べていただき、子どもたちも利用しています。

歴史から何を学ぶか？

「歴史とは未来の鏡である」と、イギリスのある歴史家は言っています。過去に起きた出来事は結果がわかっているから、私たちはこれからどうすることがよりよいのかを考えることができるからです。記憶量を競うのではなく、なぜ？どうして？等々疑問を持ち、それらをどのようにして解決してきたのか、また解決できなかったのかを学ぶことが大切だと思います。小学校では中学年で地域の歴史、自分の住んでいるまち広島市を中心にした歴史の学習が始まります。その中に自分の住んでいる河内地区の歴史を組み入れることもあります。必修ではありません。それに小学生でも使える資料をまとめたものはないので、先生方が工夫しているのが実情です。このたび社会福祉協議会で出版される「ふるさと河内古今探訪」はよい資料になると思います。内容は子どもたちには難しいので、一緒に見て、親子のコミュニケーションをはかるよい機会とされますようお願いしています。